

The School Health (No.121)

昭和53年1月3日発行
(隔月発行)

おもな内容

昭和53年度 基本方針

昭和53年度 事業のあらすじ

各県保健会の53年度事業計画

学校保健

発行 日本学校保健会
東 俊 郎
〒105 港区虎ノ門2-3-
13 第18森ビル
電話 (501)3785・0968
振替口座 東京 4-98761
頒価1部100円(送料共)

相たずさえて進もう

—昭和53年度の基本方針—

第27回全国学校保健大会前日の評議員会で、昭和53年度の基本方針が決まりました。

たくましいからだと豊かな心をもった、実践力のある児童生徒を育てよう。それには、生命の尊さと連帯感に目ざめさせ、自ら進んで健康の保持増進につとめるようにしむけよう。

日本学校保健会に加盟している団体はもちろん、関係のある人たちが、互に手をとりあって、学校保健の向上発展に力をつくそう。

1. 学校保健の文教施策に協力をしよう。
2. 加盟団体55、関係諸団体と相たずさえて進もう。
3. 広報活動の積極化をはかろう。
4. 学校保健センター的事業を充実しよう。
5. 職域別研修会を活発にしよう。



四つに組んで(千葉市こてはし台小学校)

昭和53年度事業のあらすじ

昭和53年の基本方針にかかげてある通り、事業の重点を5項目にまとめた。これらを具体化することによって、我が国学校保健の向上発展に寄与しようとするものである。学校保健の充実、管理や指導に当るものが、これらの事業を通じ、お互の意志の疎通をはかることによって実現できる。

1. 学校保健の文教政策に協力しよう。

毎年、8月と12月には、本会の代表が文部省学校保健課の意向を体して、国会に陳情をし、予算の獲得に協力している。その要旨は「最近の社会情勢は、児童生徒の健康を阻害する新しい要因がつけられている。このような事態に積極的に対処し、健康な児童生徒を育成するため、国家予算の編成にあたっては、特段のご尽力と配慮をたまわりたい。」という趣旨をのべ、具体的な事項として、次の事項をあげてお願いをしている。

(1) 学校保健の充実について

ア、疾病予防（特にう歯等）の推進と調査研究
イ、健康診断（特に心、腎等）の充実

(2) グリーン・スクールの充実（学校緑化等）

(3) 学校保健会の活動の充実について

日本学校保健会の学校保健に関する普及指導、調査研究、健康相談事業に対する補助の拡充
文部省保健課の実績と日本学校保健会の側面からの働きかけによって、53年度の概算査定額は、およそ23億8千万円。日本学校保健会を通じて施行される費用は3,700万円。52年度の2倍に達する見込みである。

2. 加盟団体、学校保健関係諸団体と相たずさえて進もう。

第28回全国学校保健研究大会（岩手）10大都市、東北、関東甲信越静、北陸3県、四国、中国、九州の各ブロック大会、保健主事の研修会などを通じ、相互の理解を深めるとともに、学校保健センター的事業の委員を講師として派遣する。一般予算2,700万円のうちから、全国大会とブロック大会に助成費として124万円を予定している。

また、第3回、都道府県、指定都市学校保健会の事務担当者連絡会を計画した。加盟団体との意志の

疎通は、事務局を通じて行われる。その要になっている方々との連絡会である。この機会に、53年度の事業計画と予算、加盟団体相互の情報の交換をする。

3. 広報活動の積極化をはかろう。

会報「学校保健」は、本号で121号、20年余の才目を積み重ねた。全国の小中高、養聾盲、および教育委員会と保健会に年間約25万部（5回に分け発刊）送付し、相互の情報を交換する役目を果している。

昨年、会報改善委員会が発足し、親しみやすく、読みやすく、学校保健のホットニュースを伝えるよう努力をしている。また、イラストや写真を多くして、紙面に興味と変化をあたえる。みんな苦勞をしながらも、学校保健にとり組んでいるのだな、という会報にしたい、と委員は意欲を燃している。

「学校保健の動向」の編集と頒布は、本年も引きつづいて行う。我が国学校保健の全ぼうを理解するのに適切であり、かつ、新しい資料が掲載してあるので、保健教育の参考となるよう編集に、くふうをする。

昨年度、理事会の中に渉外部をつくり、国外の学校保健関係者と学校保健情報の交換をすることとなり、小栗専務理事がこれに当り、託問晋平、金永安弘、野口昇の諸氏が情報を集め、かつ、提供することになっている。

4. 学校保健センター的事業を充実しよう。

学校保健センター的事業は、発足以来6年になる。毎年国庫より約2,000万円の補助をうけ、学校保健が当面している重要事情を、次の三事業を通して実施する。

学校保健センター的事業は、学校保健を学問的に深めることより、すでに解っている学校保健に関する知識技能を、学校保健活動にどう活かすか。その内容と施策を考えて資料をつくり、関係者に広く提供しようとするものである。

(1) 普及指導に関する事業

資料委員会、普及指導委員会

(2) 調査研究に関する事業

健康度評価方法委員会、学校環境衛生委員会、健康増進研究委員会、学校養護に関する委員会など。

(3) 健康相談に関する事業

腎疾患委員会、心臓疾患委員会、脊柱側彎症委員会、骨傷害委員会、歯口腔委員会など。

学校保健センター的事業で、一応結論を得た委員

会の研究成果を、全国の関係者にその内容を報告し、学校保健の振興をはかる。本年度も第3回目の学校保健センター的事業の報告会を行う。(昭和54年2月下旬)

5. 職域別研修会を活発にしよう。

3師会がそれぞれ企画し、本会と共催で全国的な規模で研修会を行う。学校医は東京(3月)学校歯科医は大阪(11月)学校薬剤師は水戸(6月)を会場に予定している。

学校保健の振興に関する要望書

昭和52年度全国学校保健協議大会

昭和52年度全国学校保健協議大会は、財団法人日本学校保健会・兵庫県学校保健会共催のもとに、昭和52年11月12日第27回全国学校保健研究大会当日、神戸市で開催されました。都道府県・指定都市の学校保健会の代表200有余名が参集し、慎重に協議した結果、下記の事項を決定しました。

国・地方公共団体および関係諸団体におかれましては、これらの諸問題を解決するため、早急に必要措置を講ぜられるよう要望いたします。

昭和52年12月24日

- (財)日本学校保健会 会長 東 俊郎
- 議長団 兵庫県学校保健会 会長 渡辺一九
- 高知県学校保健協会 会長 鎌倉利夫
- 岩手県学校保健会 会長 横川貞夫

1. 保健教育の充実に関する事項

保健指導や管理に当たる関係職員の確保・研修組

織の強化・制度の確立を図られたい

- (1) 保健主事について、研修の機会・任用期間及び校務分掌の適正化など諸条件を整備されたい
- (2) 養護教諭の全校配置と大規模校への複数配置を早急に実現されたい
- (3) 保健教育に関する現職教育・指導資料出版・教職員養成大学の講座の必須化を図られたい


2. 定期健康診断に関する事項

教育活動と疾病管理の2面から、検査体制確立のため下記の措置を講ぜられたい。

- (1) 腎疾患の早期発見と治療のため、検尿を全学年に拡大し実施されたい。
- (2) 心疾患の管理・指導のため小・中・高校の第1学年全員の検査、中学生結核検診の改善する
- (3) 視力・色覚検査について学校が行う判定はスクリーニングのみとし、専門医の診断に委ねる
- (4) 保健調査の設問の整理と効果的活用の検討

カッケ (脚気) / **肉体疲労時の**
ビタミンB₁補給に
アリナミン[®]A

☆筋肉痛・肩こり・腰痛・神経痛の緩和にも
☆アリナミンA25ミリ錠のほかに5ミリ錠



学童の集団検尿には
潜血検査も

キッドステック[™]
Kiduris

ヘマトンビステック[®]
Hema Combis

製造元: エームス事業部 販売元: 三共株式会社
マイルス・三共株式会社

保健会のひろば

各県保健会の53年度事業計画をブロックのなかからお寄せいただきました。相互の情報交流に役立てていただければ幸いです。

岩手県学校保健会

昭和53年度活動方針及び重点事業等

1. 方 針

変ぼうする現代社会に対応し、人間として豊かな個性の伸長をはかるとともに、創造的な問題解決の能力や実践的な社会性をそなえた、健康でたくましい児童生徒の育成をめざし、生命尊重、健康優先の思想に立脚して、地域社会や関係機関及び団体と綿密な連携の下に、児童生徒の健康安全の増進を図る。

2. 本年度の重点目標

(1) 学校保健活動の強化充実

各市町村学校保健会及び高校の研究推進協力校63校を中核に実践研究を促進し、学校保健活動の強化充実を図り、併せて、全国学校保健研究大会に資する。

(2) 学校保健の組織強化

幼・小中高の一貫した組織体制確立のため全市町村の学校保健会結成（結成率93.5%）、と高校を含めた加入（加入率82.3%）を促進し、組織の強化を図る。

(3) 健康診断の充実と完全実施

定期健康診断実施状況の現状にかんがみ、関係機関、団体の協力をあおぎ、健康診断の完全実施を図る。

※四国4県に匹敵する広大な無医地区をかかえての医師確保、そして健康診断の完全実施の問題は、実施義務等である各市町村にとっては重要な課題である。この打開策として、当会が、医大並びに医師会の方々の御協力をいただき、昨

年は、7町村、延べ16日間79校、15,222名の専門医検診(眼科、耳鼻科)を実施し、この結果、健康診断の実施状況は次のような高率を示しつつある。眼科96.0%、耳鼻科84.2%、歯科99.3%、内科100%。

神奈川県学校保健連合会

昭和53年度の事業について

本県は、郡市単位において地区保健会が設立されており、その連合会として本会が組織されております。また、この連合会の中には学校医、学校歯科医、養護教員部会などの10部会も組織されており、保健会としての事業はこの連合会と、その中の部会、更に地区保健会が各々行なっております。

ここでは連合会が行っています事業について紹介したいと思います。なお、53年度事業は、現在、具体的な打合せが役員会等で審議されるところで、52年度事業を参考にして紹介します。

○基本方針

児童・生徒および幼児の健康と安全を確保し県下の学校保健を推進するため、次の重点目標を達成し、もって学校保健の振興を図る。

○重点目標

- (1) 学校、家庭、地域社会における保健、安全に関する指導の充実
- (2) 学校保健に関する調査研究活動の振興

○重点事業

- 1. 学校保健活動の推進に関する研究会等の開催
具体的には県学校保健大会、県学校保健学会を主催しますが、保健大会は各県でも実施していますので省略させていただき、学校保健学会について説明しますと、この学会は日頃の研究、調査等の結果から発表願うもので、児童生徒の発表も含め12~13名

肉体疲労時の栄養補給

虚弱体質に

ポポンS錠

シオノギ製薬

医薬品 殺菌・消毒・除藻剤
食品添加物合成殺菌料 日本学校保健会推薦



残留塩素測定用
オルトトリジン試薬

次亜塩素酸ナトリウム10%溶液
10%×18ℓ

製造発売元 株式会社 エド ラ ッ ク ス
TEL.03(455)4 3 4 | 代・千葉0474(74)1171

による発表を行います。発表者としては児童生徒の他学校医、学校長、保健主事など学校保健に関係する広い範囲の人々であります。53年度は第10回を迎えます。

なお、53年度は関東甲信越静学校保健大会を9月13日、14日に藤沢市で開催いたします。

2. 奨励事業

奨励事業の中には、「よい歯の学級表彰事業」、「児童生徒の保健に関する調査・研究作品募集事業」などを行っていますが、表彰事業は県下の小・中学校に賞状用紙を配布し当会との共催事業として、かつ学校事業として、とらえ適当な時期に実施いただき表彰願うというもので大きな成果を得ております。

研究作品の募集事業は先に紹介しました学会での児童生徒の発表とあわせて実施しているものであり、小・中学生を中心に数多くの研究作品が毎年よせられ保健活動の推進の意味から成果を得ています。

3. 健康手帳頒布事業

本会では地区保健会を通じ、健康手帳の頒布事業を行っていますが、この事業は県教育委員会と当会とで編集しているもので、約20万部を毎年発行しており、県内の幼稚園、小・中・高等学校に使用されております。

4. 研究委託事業

本会では、学校保健の当面する問題について、特に専門的研究の必要とするものについては学校医部会をはじめ、保健主事部会等に委託し研究願っております。

じた教育がなされなければならない。

こうした考えに立って、学校保健のあり方をみつめなおすとき、学校保健が単に学校教育の立場でのみ論議されていたのでは過去から大きく飛躍することは望むべきもなからう。

1978年の学校保健に期待するものは、健康日本一の名にふさわしい愛知の子どもの育成である。

健康の条件は、世界保健機構WHOの憲章をふまえた、肉体的、精神的そして社会的に良好な状態にあることである。

保健活動にたずさわる、医療、行政関係者、幼小中高の学校関係者、それに父母に至るまで、学校保健の終局的な目標を根源からみつめ直し、現在の社会状況の多様化から派生する「健康を阻害するものを一つづつ除去する活動を進めて行きたい。そして名実ともに、愛知の子どもの日本一となるよう願っている。

大阪府学校保健会

ユニークな「大阪府立高等学校保健会」

大阪府学校保健会は、5郡、30市学校保健会、府立高等学校保健会、私立学校保健会からなり、昭和26年創設され、本年で27年目を迎えた。各単位保健会は、それぞれ、地味ながら、活発な活動を展開しているが、その中において、ユニークな存在の大阪府立高等学校保健会の活動状況を紹介しよう。

府立高等学校保健会（中島直巳会長）は、本年で創立20周年を迎え、1月20日に盛大な記念式典が開かれた。この会は、学校保健法が制定公布された昭和33年設立されたが、一般にみられるように学校保健関係者だけで結成されたのではなく、学校長会が中心となり、学校ぐるみで組織された全国に例のない会である。そして、新しい学校保健の精神に基づき、学校保健法に示された学校保健計画、健康相談、保健委員会等の実施基準を作成するなど、設立当初から学校保健の推進役を果してきた。その後、会誌（現在20号）の刊行、地区別職域合同研究協議会、研究発表大会（17回）、健康管理システム委員会等積極的な組織活動をすすみ、今日まで多大の成果を納めた。

なかでも、健康管理システム委員会は、昭和49年から特別委員会として設けられ、「学校保健へのコンピューター導入の方法と処理の仕方」について研究をはじめた。最初は保健管理・指導の内容でコンピューター処理可能な事項約10種類について検討を加

愛知県学校保健会

新しい年をむかえて

人は誰れも、新しい年を迎えると、身も心も一新したい心境にかられる。仕事の面でも、私生活の面でも、そして抱負と希望を持って、その目的を達成するよう努力するものである。

国民の体位、体力等の分析が明らかになるにつれ、国民総体力づくり、健康づくりがさげばれている。

今一度、一人の人間の長い生涯を考えると、その人生をも左右する健康づくりが生涯教育の立場に立ってみつめなおされているかどうかが大切なことである。幼児期から老年期に至るまでの知能、体位、体力の変化に伴い、年代に応じた様々な知識や、行動力に応じた技能の習得のため、最適時に必要に応

え、今回は特に、保健調査と健康診断結果の集計処理を実験校10校を使って研究、試行をすすめた。そして、このほど、マークシート方式が望ましく、保健調査票と検診結果の相関と有意のチェックや、各種検診の有意を確認するなど活用の範囲は大きいとその成果をまとめた。このような積極的な活動は各分野でみられ、今後の活躍が期待されている。

(文責 掛谷恒之)

岡山県学校保健協会

第24回 中国地区学校保健研究大会

中国地区学校保健研究協議大会は、昨年、島根県(松江市)で開催され、盛況をおさめたが、昭和53年度 第24回大会は、岡山県で開催することになっている。

その概要(予定・案)を述べると、

1. 開催地 岡山市
2. 開催期日 昭和53年8月18日・19日
- ・第1日 全体会(開会行事・特別講演)班別研究(9分科会)職域部会(学校医・学校歯科医・学校薬剤師・保健主事・養護教員の5部会)
- ・第2日 班別研究(分科会)閉会行事、午前中にて終了
3. 趣 旨

変ぼうする現代社会に対応し、自らすすんで健康で安全な生活を保持できる人間性豊かなたくましい児童生徒の育成をめざして、当面する学校保健および学校安全に関する諸問題について研究協議を行い、その充実発展を期する。

4. 主 題

——たくましいからだ、豊かな心——

自主性にみち、創造力と活動力に富んだ子供の育成をめざして

5. 班別研究(分科会)は、次の4領域を考えている。①保健管理指導 ②安全管理指導 ③性教育 ④学校環境衛生

なお、幼稚園関係参加者の研修については、保健・安全等を一つの班にまとめる。各班2名の研究発表者は、中国5県から予定しているが、具体的な推進については4月当初の中国5県連絡会議において最終的に決定される。

参加者800人を予定しているが、大会の開催にあたって、教職員をはじめ、学校保健関係機関団体の協力をお願いしたい。

鹿児島県学校保健会

学校・家庭・地域社会の連携による健康づくり

本県における児童生徒の体格は、全国的にみて最下位群にあり、体力でも筋力・瞬発力・柔軟性に落ち込みがある。また、疾病についても、う歯(未処置歯)、眼疾(結膜炎)、の被患率や寄生虫卵の保有率が高く、視力異常の児童生徒が増えつつある。

これらの現状を重視し、本県の児童生徒の健康づくり・体力づくりは、あらゆる教育活動の根幹をなすものであり、学校においては保健、安全、体育、給食を一体的に取り扱う必要があること、更には、児童生徒の健康についての問題を学校のみの問題としてとらえるにとどまらず、学校・家庭・地域社会を含めたすべての生活領域の問題としてとらえる必

歯ブラシはお口に合せて選びましょう。



推薦 日本学校保健会

バネット ライオン ジュニア ライオン歯磨株式会社

要があるという考え方にたつて、学校保健活動を推進している。

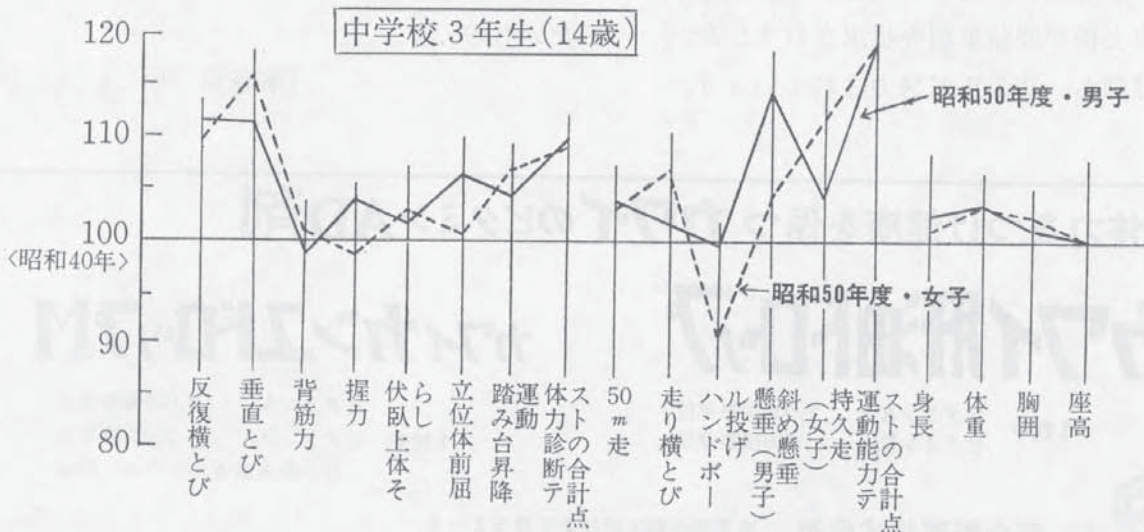
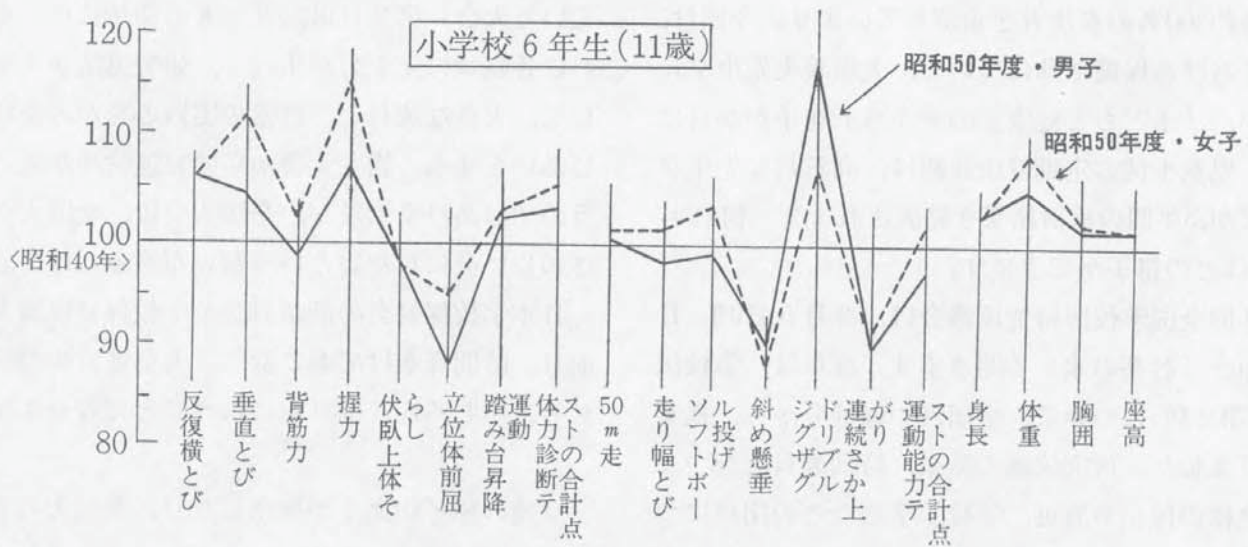
そのため、学校においては、学校や地域の実態に即した健康づくりのための目標や内容及び方法を明らかにするとともに、全教職員の共通理解と総合的な指導体制のもとに年間にわたる全体指導計画（健康に関する全体計画）を作成し、更に、具体的な実践計画を立て、学校経営の中で徹底するまで実践をつみあげていくようにしている。また、昭和46年度から48年度にわたり、日本医師会から申木野市が学校保健モデル研究都市に指定され、同市では申木野市地域健康増進協議会を設置し、児童生徒の健康問題を地域保健と学校保健の関連により解決していく取組みにより大きな成果を得た。

本県では、この申木野市の取組みをふまえ、昭和

49年度から51年度にわたり、本県の地域的特性から都市、農村、漁村、離島を考慮した4地区を学校保健対策推進モデル地区に設定し、学校・家庭・地域社会の連携による健康づくり・体力づくりを推進してきた。4地区では、それぞれの地域の特性を考慮しながら、関係機関・団体の協力のもと、各地区ごとに保健対策推進委員会を設置し、当該地区の児童生徒及び地域における健康状態の問題点を発掘し、問題点に対する具体的な改善策をたて、学校、家庭・地域社会がそれぞれ受けもつべき役割分担を明確にして問題解決に取り組み大きな成果をあげている。昭和53年度は、これらの実績をふまえ、更に児童生徒の健康づくり、体力づくりへの取組みを強化充実してまいりたい。

(理事長 前田純夫)

体力・運動能力の10年の比較 (昭和40年を100として)



日本学校保健会だより

★「会報」をみなさんと共に育てましょう。

“今日いただいた「学校保健」No. 120号。内容も編集も、だんだん大衆的になって、よいと思います。一般の先生方に読んでもらいたいのので、あまり専門的でない記事がいいですね。”雪の新潟から、大江先生の便りが舞いこんで、事務局に暖かいぶきがただよ。加盟団体からの拠出金の総額計約600万円。その3分の2の400万円を費して、会報の編集と頒布に当てています。何とかして、みなさんから親しまれ、しかも、お役に立つ会報にしたいものです。建設的なご意見をお寄せください。

★ 研修会を開きます。

第2回学校保健センター的事業報告会 2月25日 東京代々木のオリンピックセンターで開きます。全国から約300名の参加者を希望しています。今回は、学級における保健活動について、大場義夫先生グループが、「子どもと健康」のテキストを手がかりに語り、児童生徒の定期健康診断は、高石昌弘先生グループが、3年間の検討結果を発表されます。何れも100頁ほどの冊子ができます。

第2回全国学校医研究協議会は、3月5日(日) 日本医師会(お茶の水)で開きます。昨年は、学校伝染病(第2類)について、全国26の保健会から、提案がありました。研究協議の結果、特別委員会をつくり、登校の停止や許可、学校、学級などの閉鎖について協議をし、文部省の柳川体育局長に本会理事会の議を経て、東会長が要望事項を提出されました。文部省学校保健課も、法改正に努力されています。

今回は、学校保健法施行規則第23条、学校医の職務執行の準則のうち、学校保健計画の立案に参与することと、健康診断に従事することの2項目に焦点を絞りました。提案者は、神奈川の石井敏和先生、群馬の矢野享先生です。これらの研究協議を行い相互の理解を深めようとするものです。

★ 全国学校保健研究大会は、これでよいか。

全国大会も今年9月22日から岩手県で行われます。28回の実績は、我が国の学校保健を推進するエネルギーとなりました。しかし、運営その他、問題がないわけでもありません。全国の評議員にアンケートでお尋ねした結果は、つぎのようでした。

- 従来のまゝでよろしい 21%
- 試案の方がよいと思う 61%
- どっちともつかない 18%

試案とは、第1日の午前中は、表彰などの式典とシンポジウム。午後は、職域別研修会(前日行っていた大会)第2日は、6~8の領域にし、それぞれに各職域の先生方が集って、研究協議をする。そして、大きな流れと、日常の実践とをかみ合せた話しあいをする。岩手大会からすぐ運営をかえるというわけではありませんが、全国大会は、全国大会にふさわしい会にしたいという願いがあるわけです。

日本学校保健会の評議員会や学校保健協議大会は、前日、時間をかけておこなう。大会運営の事前打合せも、もちろん、前日おこなうことになります。

ソ連の原子炉衛生が墜落したり、茨城大の学生3人が内ゲバで殺されたり、命をもっともっと大切にしたいものです。

(事務局 いしい 1.28記)

体力をつけ健康を保つ **カワイ** のビタミンAD剤

カワイ肝油ドロップ

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
 ビタミンD₂ 200国際単位

カワイキャンズドロップM

1粒中 ビタミンA 2,000国際単位
 ビタミンD₂ 200国際単位
 リン酸水素カルシウム 65mg



河合製薬株式会社 東京都中野区新井2丁目51-8